

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人多摩大和園

しんぼり

目 次

しんぼり 事業報告

P 1 - P 4

しんぼり全体報告

I 事業概要

1. 全体概要

開設7年目を迎え、地域や関係機関への周知がなされてきており、更に円滑に連携をとることができるようになった。コロナ禍、活動に制限がある中でいかに効果的に見守りを行えるか、試行錯誤の活動となった。民生委員、自治会、老人会、東京都住宅供給公社窓口、サロン、自主グループ、介護予防リーダー、社協、大きな和等の関係機関と今まで構築してきた関係を活用し、連携を図りながら事業運営にあたった。

ほっと支援センターきよはらと連携して課題のある高齢者の生活状況を把握し、自宅への同行訪問や依頼訪問の機会も多かった。事前の約束がないために警戒する高齢者には、ほっと支援センターきよはらの医療職等と同行訪問し、医療をきっかけに必要な支援へ結びつける機会が多かった。また、ほっと支援センターきよはらで受けた相談について円滑な支援を進めるため、地域の見守り役として見守りぼっくすが同行訪問し、介入のきっかけを作る機会も多かった。

アウトリーチ機能を活用し、東大和市から依頼のあった65歳以上の高齢者世帯名簿に基づき単身高齢者のみ世帯及び複数の65歳以上で構成される世帯を戸別訪問し、事業内容の広報や生活状況の把握に努め、必要に応じて、介護サービスや緊急通報システム、介護予防のための地域活動参加等を提案した。訪問を重ね、信頼関係を構築し、相談を受ける機会も多数あった。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令中は、面会せずに丁寧なコメントを書いた訪問カードを通信に添付し、ポストインした結果、訪問カードを見た高齢者から連絡があり、状況把握できたケースもあった。

このようにアウトリーチや関係機関からの情報提供による訪問から介護保険の申請、高齢者福祉サービスの利用、地域活動への参加につながったケースも多数ある。

名簿の整備や今までに訪問した世帯の情報が蓄積されたことにより、アウトリーチ訪問を更に効率的に行えるようになり、地域の全体像が少しずつ浮き彫りになってきている。

地域のケアマネジャーからの依頼で緊急通報システムを申請し、サービス担当者会議に出席して事業内容を説明し、サービス事業所と連携する機会も多かった。

今後も、この活動を継続し、見守りが必要な高齢者に対して支援を行っていきたい。

また、これらのことを踏まえ、2層協議体の活動にも積極的に参加した。

引き続き、高齢者ほっと支援センターきよはらと連携し、地域における相談窓口としての役割を果たすとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援体制整備推進部会の一員として、その役割を担っていきたい。

2. サービス提供

東京都の高齢者見守り窓口設置事業である「東大和市高齢者見守りぼっくすしんぼり」の管理・運営に関する業務について、東大和市の委託を受けて実施した。

高齢者の安心・安全を提供するために、高齢者からの相談受付や生活状況の把握、

関係機関と連携した見守り、緊急通報システムによる見守り等を行っている。

見守りぼっくす事業におけるアウトリーチ機能を十分に活用し、民生委員、自治会、老人会、介護予防リーダーなど、地域の活動と連携した。

また、医療機関、東京都住宅供給公社窓口、社会福祉協議会主催の見守り・声かけ協力員などと連携し、地域の特性や地域の課題の把握、改善・解決に尽力した。

3. 職員配置状況

	勤務形態	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談員	正規	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談員	契約	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

II 事業実績

活動実績（令和3年3月31日現在）

活動分類	内容	人数・件数
① 見守り活動 実施状況	・見守り対象者名簿登載人数（直近で把握している累計）	337 人
	・見守り活動を行った対象者の実人数	2309 人
	・戸別訪問による見守り活動の件数 （うち、実際に面会できた訪問件数）	2129 件 916 件
	・電話訪問による見守り活動の件数 （うち、実際に会話できた電話訪問件数）	285 件 208 件
	・本人が見守りぼっくすに来所することによる安否確認	39 件
	・ボランティア等を活用した見守り件数	27 件
	② 相談受付状況	・相談受付け件数 （来所による相談件数）
（電話による相談件数）		684 件
（訪問による相談件数）		1153 件
（来所・電話・訪問以外による相談件数）		188 件
・相談受付けにより他機関等に繋いだ件数		929 件
③ 民間緊急通報 システム 設置状況等	・民間緊急通報システム設置実世帯数	96 世帯
	・民間緊急通報システム発報件数 （正報）	81 件 23 件
	（誤報）	58 件
	・発報を受けて対応した件数	49 件

Ⅲ 会議・委員会・業務担当

情報交換を積極的に行い、相互理解を深め、施設全体が有機的に機能するように会議を開催した。短い間で密度の濃い時間とするため、事前の準備を徹底し、会議中は活発な意見交換の場とした。

1. 外部会議 参加状況

会議名	主催者	回数
見守りぼっくす連絡会	東大和市	3
生活支援体制整備推進部会	東大和市	1 書面開催 2
東大和市見守り ・声かけ活動地区委員会	東大和市社会福祉協議会	6
ケアマネットやまと	ケアマネットやまと	0
地域ケア会議	東大和市高齢者ほっと支援センターきよはら	2
相談協力員連絡会議	東大和市高齢者ほっと支援センターきよはら	0
大きな和連絡会	社会福祉協議会	0
生活支援事業 第2層協議体	東大和市	7

2. 施設内会議・委員会

会議名称	実績	出席者
運営会議	年 9 回 書面開催 2 回	業務執行理事、きよはらリーダー、相談員、看護師、事務員、しんぼり相談員
安全運転管理委員会	同上	※運営会議に準ずる
苦情解決委員会	同上	※運営会議に準ずる
事故対策委員会 (リスクマネジメント委員会)	同上	※運営会議に準ずる
防火管理委員会	同上	※運営会議に準ずる
衛生管理委員会	同上	※運営会議に準ずる
虐待防止委員会	同上	※運営会議に準ずる
しんぼり事業内会議	開催 4 回 書面開催 1 回	業務執行理事・相談員

IV 研修計画

専門職として日々の業務をより充実させるため、職員の資質向上に向け、内部研修と関係機関・団体が主催する外部研修会への参加を通じて、幅広く基本的サービス援助技術及び知識の充実を図った。

1. 外部研修 参加状況

研修名	主催者	日程	参加人数
令和2年度在宅医療・介護連携推進のための地域における多職種連携研修会（第1回）（動画視聴）	東大和市高齢介護課	9月4日	2
令和2年度第1期東京都介護支援専門員更新研修	東京都福祉保健財団	10月14日～11月27日まで全6回	1
令和2年度「あんしん講座（支援者編）」	東大和市 社会福祉協議会	1月26日	1
令和2年度地域ケア会議研修（動画視聴）	東大和市高齢介護課	3月6日	2
令和2年度認知症対策推進研修会（専門職向け）（動画視聴）	東大和市高齢介護課	3月16日	2

2. 内部研修 参加状況

研修名	講師名	日程	参加人数
救急救命講習	北多摩西部消防署	10月8日	1

※事業内研修については、特に日程は定めず日常的に研修に努めた。

3. 年間業務担当 取組実績

関係各所との十分な連携を図り、しんぼり全体の窓口及び統括的な役割を担った。

担当業務名	取組内容	担当
設備・保守	施設の設備保守・管理・営繕等に関わること	相談員
外部研修	職員の外部研修に関わること	相談員
広報紙	法人・施設通信の作成・編集・発行	相談員